

今月の環境キーワードは3R!

3Rとは、資源の使用を減らす・ゴミを減らす (Reduce)、再使用 (Reuse)、再生利用 (Recycle) を表す言葉。

企業のエコアクション vol.03

栃木県立宇都宮女子高等学校 eco委員会

協栄産業株式会社

「ペットボトルは資源」を合言葉に、高度なECOプラスチックリサイクル技術で国内の注目を集めている協栄産業グループに、女子高生が訪問!



高度なリサイクルの仕組みを説明、高校生も熱心に耳を傾ける。

ペットボトルは日本の油田だ!

ペットボトルが学生服やハンチなど、さまざまなものに生まれ変わる!



世界のキーワードとなっており、その中で、同社が最も力を入れているのがペットボトルをはじめとするエコプラスチックのリサイクル。「協栄産業グループでは、みなさんから回収したペットボトルを、異物除去・粉砕・洗浄などの工程を経て適正に処理し、衣服やカーペット、ハンチなどなく、さまざまなものの原料として再生します」

栃木県立宇都宮女子高等学校で環境活動を行うエコ委員会の有志6名が、ペットボトル・リサイクル分野で高い評価を得ている協栄産業グループを訪ね、社長から直接話を聞き、工場を見学。「20世紀は、石油など資源を消費したおかげで世界経済が大きく発展しました。ただ、これからは資源を残すことに力を注ぐ時代です」と協栄産業の社長・古澤栄一さんが話すように、今、「3R」(リデュース・リユース・リサイクル)が

「ペットボトルは資源」という言葉が、みなさんの協力が不可欠。飲み終わったペットボトルは、ラベルを剥がし、きれいに洗って、スルメ状に平たく潰して、できれば家庭で分別してください」と古澤社長。「いつかは、都市油田を築地に森を作る、そんなヒュネスホテルができればいいね」
(文/坂本智秀)

古澤社長は「ペットボトルのことを都市油田と呼ぶ。ペットボトルは元来石油から作られているのだから、再び原料として使えば、これは油田と同じことだ。日本は石油を外国から買うしかないが、ペットボトルを資源として大切に扱って、都市油田を持つことになる。」

ペットボトルのリサイクルと一言で言っても、その工程では高度な技術を要する。同社が生み出す再生原料の品質は世界でもトップクラスだ。



古澤社長自身が、熱心に、わかりやすく、ペットボトル・リサイクルの最先端について話してくれた。協栄産業を訪れた高校生たちは、口々に「来てよかった」と絶賛。



協栄産業グループでは、スタッフのみなさんの心がけが至るところに浸透していて、クリーンでハートフルな職場環境を実現。

高校生に記念アルバムのプレゼント!



<p>古澤 栄一さん(12年)</p> <p>「ペットボトルのリサイクル技術は、初めて見た。私が訪ねたのは、協栄産業の工場。ここには、みなさんが大切に扱ったペットボトルが、きれいに洗って、スルメ状に潰れて、再生原料として使われている。これは、日本の油田と同じことだ。日本は石油を外国から買うしかないが、ペットボトルを資源として大切に扱って、都市油田を持つことになる。」</p>	<p>古澤 千尋さん(3年)</p> <p>「ペットボトルのリサイクル技術は、初めて見た。私が訪ねたのは、協栄産業の工場。ここには、みなさんが大切に扱ったペットボトルが、きれいに洗って、スルメ状に潰れて、再生原料として使われている。これは、日本の油田と同じことだ。日本は石油を外国から買うしかないが、ペットボトルを資源として大切に扱って、都市油田を持つことになる。」</p>	<p>古澤 千尋さん(3年)</p> <p>「ペットボトルのリサイクル技術は、初めて見た。私が訪ねたのは、協栄産業の工場。ここには、みなさんが大切に扱ったペットボトルが、きれいに洗って、スルメ状に潰れて、再生原料として使われている。これは、日本の油田と同じことだ。日本は石油を外国から買うしかないが、ペットボトルを資源として大切に扱って、都市油田を持つことになる。」</p>
<p>石原 杏子さん(3年)</p> <p>「ペットボトルのリサイクル技術は、初めて見た。私が訪ねたのは、協栄産業の工場。ここには、みなさんが大切に扱ったペットボトルが、きれいに洗って、スルメ状に潰れて、再生原料として使われている。これは、日本の油田と同じことだ。日本は石油を外国から買うしかないが、ペットボトルを資源として大切に扱って、都市油田を持つことになる。」</p>	<p>山田 真佳さん(1年)</p> <p>「ペットボトルのリサイクル技術は、初めて見た。私が訪ねたのは、協栄産業の工場。ここには、みなさんが大切に扱ったペットボトルが、きれいに洗って、スルメ状に潰れて、再生原料として使われている。これは、日本の油田と同じことだ。日本は石油を外国から買うしかないが、ペットボトルを資源として大切に扱って、都市油田を持つことになる。」</p>	<p>河津 結子さん(1年)</p> <p>「ペットボトルのリサイクル技術は、初めて見た。私が訪ねたのは、協栄産業の工場。ここには、みなさんが大切に扱ったペットボトルが、きれいに洗って、スルメ状に潰れて、再生原料として使われている。これは、日本の油田と同じことだ。日本は石油を外国から買うしかないが、ペットボトルを資源として大切に扱って、都市油田を持つことになる。」</p>



協栄産業

協栄産業株式会社は、高校生の環境活動を応援しています!
ECOプラスチックのリサイクルの仕組みを見よう! ▶ <http://www.kyoei-rg.co.jp/>